

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

2020/3/25 学校番号:34008

札幌市立北都中学校

1 本年度の経営方針

1 札幌らしい特色ある学校教育	5 子どもの発達への支援
2 「学ぶ力」の育成	6 信頼される学校の創造
3 豊かな心の育成	7 教科等の枠組みを超えた教育
4 健やかな身体の育成	

2 本年度の重点目標

「自立した生徒の育成」－自ら気づき、考え、行動する生徒－	
1 分かる・できる・楽しい授業づくりの取組の強化	5 校種間連携と家庭・地域とともに進める学校づくり
2 命を大切にす指導、いじめ防止等の取組の強化	6 教員の資質・能力等の向上
3 「健やかな体」育成に向けた取組の強化	7 全教職員の協働意識の強化
4 特別な配慮を必要とする子どもへの支援	

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

自己評価結果(A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」)		自己評価		学校関係者評価		
分野	アンケート番号	評価項目	達成状況	成果と今後の改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
札幌らしい特色ある学校教育	⑪	生徒は家庭学習に意欲的に取り組んでいる	C	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことを繰り返し復習したり、自分の課題を把握し改善していけるよう、指導を充実していく。 学校司書と連携し、図書館活動や本に対する指導などを通して、読書習慣の形成を図っていく。 	B	B
	⑯	「朝の読書」を通し、生徒は読書習慣がついてきている	B			
	学校関係者評価者による意見	指導を継続していくことが大事である。				
「学ぶ力」の育成	⑫	学習の成果と課題を適切に評価し、次の指導に生かすことができている	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修を充実させ、生徒の学習理解をより深めるための研修を充実させていく。 学習習慣の形成に向け、学習計画や学年PTAなどで家庭との連携を図っていく。 	A	A
	⑬	「学ぶ力」の育成にむけて授業の改善に努めている	B			
	⑭	学校・家庭・地域が連携して学習習慣づくり・生活習慣づくりを行っている	C			
	学校関係者評価者による意見	⑭の連携はとれている。引き続き、粘り強く家庭と連携を図ってほしい。				
豊かな心の育成	②	挨拶や服装・言葉遣いなどの基本的な生活習慣を正しく身に付けさせることができている	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体として生活に対する生徒の意識も高く、落ち着いた生活ができている。生徒が意欲的に学習や行事に取り組むことができる環境を整えていく。 道徳を指導の要とし、豊かな心の育成の充実を目指した。今後も教職員と生徒とのふれあいを通じた指導を行っていく。 	A	A
	③	社会や学校のきまりを守るように、適切に指導を行うことができている	A			
	④	生徒の生活上の問題点について、生徒指導を適切に行うことができている	A			
	⑤	教育相談を適切に行うことができている	A			
	⑥	いじめの防止やいじめに対し適切な指導を行っている	A			
	⑰	道徳を通し、「豊かな心」の指導の充実を図っている	A			
学校関係者評価者による意見	さわやかな挨拶など礼儀が身に付いているので、指導を継続してほしい。					
健やかな身体の育成	⑨	部活動基準等に基づき、部活動が適切に行われている	A	<ul style="list-style-type: none"> 「健やかな体」育成プログラムをもとに全教職員の協力体制のもと、部活動を含めた積極的な活動を行っていく。 	A	A
	⑲	「健やかな体」の育成に充分取り組んでいる	B			
	学校関係者評価者による意見	継続した指導をお願いしたい。				

自己評価結果(A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」)			自己評価		学校関係者評価	
分野	アンケート番号	評価項目	達成状況	成果と今後の改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
子どもへの支援の発達	⑦	北都文化祭などの行事は適切に設定され、生徒は充実した活動を行っている	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会や委員会が中心となり、行事で生徒が主体となった取組ができた。 保健室やS.C、相談支援パートナーと連携を密にすることによって、支援の必要な生徒に対する効果的な指導体制をより一層充実していく。 	A	A
	②②	特別な配慮を必要とする生徒や不登校や不登校傾向の生徒への支援を適切に行っている	B			
	学校関係者評価者による意見	今後も粘り強い指導をお願いしたい。				
信頼される学校の創造	⑮	小学校との連携による教育活動の充実を図っている	B	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業など小中連携の取組方法を改善した。今後も小学校との連携を深め、系統性と連続性のある教育を推進していく。 学校の活動の様子などを、ホームページなどを通して、保護者や地域の方々に積極的な情報発信をすることができた。今後も継続していく。 	A	A
	⑩	研修を通して授業改善に取り組んでいる	B			
	⑳	便りやホームページなどを通じて学校の様子を保護者に伝えることができています	A			
	㉕	プライバシーに配慮し、情報管理の徹底に努めている	A			
	学校関係者評価者による意見	⑮に関しては、これからも重要な課題であるので、連携を強化して行ってほしい。				
教科等の枠組みを超えた教育	⑧	生徒会活動や学級活動を通じて、生徒とふれあい、望ましい活動を行う時間をもつことができています	B	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習活動と研修を充実させていく。 職業体験や上級学校調べなど、生徒の将来を考える指導ができた。今後も工夫を重ね指導していく。 新学習指導要領を見据え、教科横断的な取組など、効果的な学習を進めていく。 	B	A
	⑩	生徒の学習環境に適した施設・設備を整えることができています	B			
	⑰	ICTなどの情報手段を授業で積極的に活用している	B			
	⑳	キャリア教育・進路指導を適切に行うことができています	A			
	㉓	基本的人権を尊重し、尊厳や個性・多様性を認め、偏見や差別をなくし、温かい人間関係を育てている	A			
学校関係者評価者による意見	粘り強く指導を続けてほしい。					

○A、B、Cはアンケート結果の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計%から算出しました。
A…75%以上、B…50%以上75%未満、C…50%未満

★その他、委員の方からのご意見

<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携を深め、今後も粘り強い指導を継続してほしい。 地域の行事にボランティアとして積極的に参加していることが、貴重な体験になっている。 学校評価アンケートで、前期より後期に伸びたところを「学ぶ力」育成プログラムで考慮すべきである。
--